

「牧場&牛乳工場見学ツアー」で酪農後継者が見学者受入対応デビュー

令和元年8月7日に、県内の小学生親子を対象とした、「牧場&牛乳工場見学ツアー」が開催されました。当日は応募者多数の中から抽選で選ばれた14組31名（保護者14名、小学生17名）が参加しました。

かながわ酪農活性化対策委員会（事務局：神奈川県酪農業協同組合連合会）が主催のイベントで、県乳業協会1名、JA全農かながわ1名、畜産課1名、湘南地域県政センター1名、当所普及指導員2名で対応しました。

参加者は、あしがら乳業㈱にて「牛乳工場の見学」と「バター作り」を体験し、昼食後、秦野市の酪農家の臼井さんの牧場を見学するという日程でした。牧場では、冷房の無い暑い中ですが、皆さん熱心に臼井さんの話に耳を傾けていました。「エサやり体験」では初めのうち、エサとして用意された青刈り牧草を握りしめながら、おっかなびっくり、腰が引けていた子供たちでしたが、段々と牛との距離が縮りお代わり用の追加のエサを子供たちが争って取り合ったり、分けあったりと、盛り上がっていました。



牧場見学（エサやり体験）



臼井さんの説明を聞く子供達

臼井さんの牧場では普段から様々な年齢の研修生を受け入れていることもあり、牛達は子供たちの歓喜する様子を目の当たりにしながらも、落ち着き払った様子でした。

普段は、牧場主の逸男さんが手慣れたトークで盛り上げますが、今回は、後継者の史行さんが主役ということで、市内の酪農後継者グループ「つくしんぼ」のメンバーと普及指導員とでサポートしました。

ツアー後のアンケート調査（回答17名）で「今日は何が楽しかった？」の問いに対し、1位は「バター作り」と「エサやり体験」が15票で、3位の「子牛の観察」は11票。全部楽しかった（全て選択）という子供が4名いました。

県民の畜産に対する理解醸成、また県内畜産物に関心を持ってもらえるよう、このようなイベントを通じ、生産者自らの発信力を生み出す手助けができればと思います。